

ICTを活用した

家庭学習の手引き

～学び続ける須坂市の子ども～

誰とでも
学べるね!

いつでも
学べるね!

どこでも
学べるね!



保護者の皆さまへ

ICT：情報通信技術 (Information and Communication Technology)

須坂市では、子ども達が将来にわたって豊かに生きるためには、学力の定着が必要と考え、基礎学力を身につけ自ら学ぶ力を伸ばしていくために、家庭での学習習慣を大切にしてきました。その結果、各種調査でも、家庭学習の環境や習慣等は全国平均を上回るようになってきています。

国では、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、子ども達一人一人の能力や適正に応じて資質・能力を確実に育成できる教育ICT環境を実現するために「GIGA スクール構想」をスタートさせ、一人一台端末を整備することになりました。日本の子どもの ICT 使用は「チャットをする」「ゲームで遊ぶ」等「学習外」が多く「コンピュータを使って宿題をする」「学校の勉強のためにインターネット上のサイトを見る」等は大変低い割合になっています。GIGA スクール構想では、一人一台端末や高速大容量の通信ネットワーク、デジタル教科書等のコンテンツ等を用いて、児童・生徒自身が自らのデータを活用して学力の定着を図るだけでなく、教師が、一人一人の理解状況や能力、適正を把握し、今まで以上に個に応じた支援をすることが可能となります。

須坂市でも、2021年4月より、小・中学生全員に一人一台端末を整備しました。学校の授業でも活用しますが、家庭学習でも使用します。このリーフレットは、一人一台端末の時代の家庭学習充実のためにご活用ください。

2021年 須坂市教育委員会・須坂市校長会

名前

タブレット番号

アカウント名

学校でICTを活用した 「新たな学び」が始まります

一人一台端末をはじめとするICTの活用により、画像や動画を利用した分かりやすい授業を通じた学習意欲の向上、児童生徒の学習の習熟度に応じたデジタル教材による知識・理解の定着、電子黒板等を用いた発表・話し合いによる思考力や表現力の向上を図ります。また、小学校、中学校ともにデジタル教科書を活用して授業を行います。

一斉学習

授業の導入では、挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子ども達の興味・関心を高めることができます。

また、授業のまとめでは、学習して分かったこと、大切なことを全員で確認することができます。



デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となります。また、教師が一人一人の学習状況を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となります。

個別学習

個に応じた学習



一人一人の習熟の程度に応じた学習

調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画による記録

思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

協働学習

一人一台端末や電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校等との交流学習において子ども同士による意見交換、発表等、お互いを高め合う学びを通して、思考力・判断力・表現力等を育成することができます。

発表や話し合い



グループや学級全体での発表、話し合い

協働での意見整理



複数の意見、考えを議論して整理

協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

学校の壁を越えた学習



他地域や海外の学校等との交流授業

一人一台端末で、 家庭学習も変わります

宿題 学校で学習した内容を家庭学習で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。

ICTを使うと

- ◆ デジタル教科書や授業動画等で授業内容を確認しながら、宿題に取り組むことができます。宿題が終わったら、先生に「宿題完了」が伝わります。
- ◆ 宿題で分からないことがあったら、先生に質問することができます。次の授業で、説明してくれるでしょう。
- ◆ CBT*1システムのチェック問題を活用して、自分の理解度を確認しながら復習することができます。



予習をすると、次の授業の内容をきちんと理解できるようになり、定着しやすく理解も深まります。

予習

ICTを使うと

- ◆ 小学校3年生以上のおなさんは、持ち帰った端末を使って、明日の授業内容をデジタル教科書や授業動画等で視聴できます。分かったことや疑問点などはっきりさせて授業に臨みましょう。
- ◆ デジタル教科書を使えば、自分の理解度に応じて、まだ学校で学習していない内容も学習できます。



自主学習 計画的に自主学習をすることで、苦手教科を克服したり、得意教科の力を伸ばしたりすることができます。

ICTを使うと

- 「復習」**… 現在学習している内容を、デジタル教科書や授業動画等で繰り返し学習できます。教科書の練習問題やドリル、スキルなどの問題を何度も解いてみるとよいでしょう。
- 「克服」**… 苦手な教科を、デジタル教科書、授業動画やeライブラリ*2等を使って学年をさかのぼってやり直すことで、理解を深めることができます。
- 「発展・探究」**… eライブラリ等で得意な教科の発展問題や入試問題、各種検定問題*3に取り組んだり、疑問に思っていた内容を調べたりして、力を高めましょう。学年を超えて学習を進めることもできます。

一人一台端末を活用して
家庭をより広い学びの環境に
【義務教育9カ年の家庭学習】



一人一台端末を活用した「家庭学習 5つのポイント」

- 1 デジタル教科書や授業動画等で学習内容を確認しながら宿題（復習）、予習を進め、eライブラリ等で定着を図ろう。
- 2 CBTシステムのチェック問題を活用して、自分の理解度を確認しながら学習を進めよう。
- 3 自主学習は、学年の学習内容にとらわれずに、「復習」「克服」「発展・探究」から自分に合った学習を選択して計画的に学習を進めよう。
- 4 一人一台端末利用の約束を守りながら、情報活用能力を身につけよう。
- 5 目の健康に気をつけ、時間を決めてタブレットを使おう。

家庭学習時間の
めやす（目標）

	小学校 1年・2年	3年・4年	5年・6年	中学校 1年・2年	3年
宿題	30分程度	45分程度	60分程度	90分以上	120分以上
予習	<ul style="list-style-type: none"> ★宿題 <ul style="list-style-type: none"> ・音読、漢字ドリル、計算練習 など ★お手伝い <ul style="list-style-type: none"> ・家族の一人としてしましょう。 ★明日の用意 <ul style="list-style-type: none"> ・明日必要なものを準備しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★宿題 <ul style="list-style-type: none"> ・音読、漢字ドリル、計算練習 など ★復習 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業のポイントなどをノートにまとめ振り返りましょう。 ・デジタル教科書で学習内容を確認したり、eライブラリで練習問題に取り組んだりしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★宿題 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な漢字練習、計算練習、英単語練習など機械的な作業にならないように工夫して学習しましょう。 ★復習 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業内容をデジタル教科書やノートを見返して理解を深めたり、定期テストに向けて計画的に学習内容の復習を進めたりしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★宿題 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な漢字練習、計算練習、英単語練習など機械的な作業にならないように工夫して学習しましょう。 ★復習 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業内容をデジタル教科書やノートを見返して理解を深めたり、定期テストに向けて計画的に学習内容の復習を進めたりしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★宿題 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な漢字練習、計算練習、英単語練習など機械的な作業にならないように工夫して学習しましょう。 ★復習 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業内容をデジタル教科書やノートを見返して理解を深めたり、定期テストに向けて計画的に学習内容の復習を進めたりしましょう。
自主学習	<ul style="list-style-type: none"> ★明日の授業予定を確認 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を視聴します。今日分からなくても大丈夫、明日の授業で分かるようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ★明日の授業予定を確認 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を視聴し、今の自分の「分かったこと」、「分からないこと」をはっきりさせると、明日の授業がより分かりやすくなります。 ・教科書の大事だと思うこと、分からないところや疑問に思うところに印を付けたり、ノートにまとめたりするとよいでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「復習」「克服」「発展・探究」 <ul style="list-style-type: none"> 復習：宿題をやり直したり、問題集に取り組んだりしましょう。 克服：苦手な教科、分野を重点的にやり直し、理解を深めましょう。 発展・探究：得意な教科の発展問題に取り組んだり、興味ある内容を広げて調べたりしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★明日の授業予定を確認 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書で内容を確認し、問題を解いてから授業に臨みます。 ・全て分からなくても、できるところまで進めておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★受験に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・参考書、問題集に繰り返し取り組み、計画的に進めましょう。 ★理解を深める <ul style="list-style-type: none"> ・分からない所については、早めに確認しながら進めましょう。
タブレット活用 いつでもどこでも	<ul style="list-style-type: none"> ★デジタル教科書を視聴する <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を確認しながら宿題を進めたり、予習をしたりしましょう。 ★使い方に慣れる <ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字入力の練習をしたり、簡単なプレゼンテーションをつくらしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★デジタル教科書を使って考える <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書で授業内容を復習しながら、宿題に取り組みましょう。分からないところは、何回も繰り返し視聴し理解を深めましょう。 ・デジタル教科書を予習にも活用し、疑問点をはっきりさせて授業に臨むと理解が深まります。 ★動画・画像を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・授業動画やeライブラリを活用し、予習や復習を進めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分用の参考書 <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントだと思えることを分かりやすくまとめ、自分用の参考書をつくりましょう。 ★協働学習 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも協働制作ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分用の参考書 <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントだと思えることを分かりやすくまとめ、自分用の参考書をつくりましょう。 ★協働学習 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも協働制作ができます。 	

保護者の 関わり

- ★決まった時間、決まった場所で学習
 - 親子で相談して、約束を決めましょう。
- ★連絡帳やお便りで、プリントや宿題を確認
 - 宿題が終わったら一緒にチェックし、温かな声かけをしましょう。
- ★同じ時間・空間を（家庭学習の習慣が身につくまで）
 - 正しい姿勢、鉛筆の持ち方、共に過ごす時間・空間を大切にしましょう。
- ★鉛筆や筆箱の確認
 - 学びの基本は低学年で身につけることが大事です。
- ★がんばりを認める
 - 予習や自主学習に取り組んでいることを励ましましょう。
- ★目標をもてる声かけ（学習時間、内容等について）
 - 「○時まで」「○○の内容まで」など子どもが分かりやすい目標と一緒に考え決めましょう。
- ★タブレット使用はともに
 - タブレットを、安全に正しく利用できているか見届けましょう。
- ★学習環境を整える
 - 静かに集中できる環境、規則正しい生活、バランスの取れた食事、十分な睡眠が大切です。
- ★話し合える親子関係
 - 今日あったこと、悩み、部活動、社会問題等を話題にしましょう。特に、進路についての相談は、時間をかけてじっくりと話し合い、目的を基にした自己決定を促しましょう。

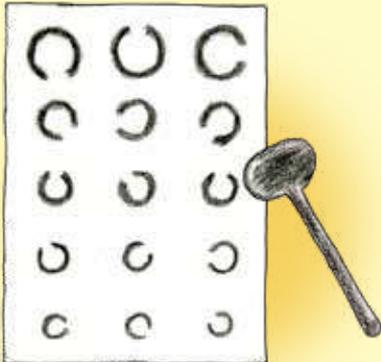
※1 CBTシステム：Computer Based Testing タブレット端末を用いて、オンラインで学習・評価ができるシステム
 ※2 eライブラリ：理解度に応じて学習を進めることができる個人学習用アプリ
 ※3 検定問題：漢字検定、数学検定、英語検定など

一人一台端末の使用 3つのポイント!

1

目の健康

20・20・20で
近視予防



20分端末画面を見たら、
20フィート(6m以上)離れた
ものを、20秒間ながめると、
近視を防ぐことができます。

2

学習使用

学校でも家庭でも
端末は学習に使う



一人一台端末は、学校や
家庭での学習をよりよいも
のにするために配布されて
います。学習以外で使うこ
とは、止めましょう。

3

悪口厳禁

悪口の書き込みは
法律で罰せられる



友だちの悪口やうその書
き込みをすると「名誉毀損」
で訴えられることがありま
す。一度書き込んだものは、
消すことができません。

次の点にも気をつけて使いましょう。

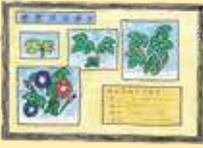
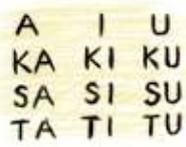
保護者の皆さまも、ご確認ください。

- ・タブレットは、使い方や貸し出しの約束を守り、ていねいに大事に扱きましょう。
- ・アプリは無断でダウンロードしたり、削除したりすることはできません。
- ・インターネットを使うときは、基本的にお家の人と一緒に使うようにしましょう。また、インターネットからの情報には、間違った情報や正しくない誘いもあることを知っておきましょう。
- ・IDやパスワードは、絶対に教えてはいけません。自分の情報は自分で守ります。また、友だちの情報も大切に守ります。
- ・インターネットサイトからの映画や音楽の違法ダウンロードは、法律で禁止されています。



一人一台端末で育む情報活用能力

授業や家庭学習で育てたい情報活用能力

1年	 写真撮影  デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ◆カメラ機能を使って写真を撮影する ◆写真に題名やエピソードをつける ◆タブレットでデジタル教科書を見る
2年	 動画撮影  デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ◆カメラ機能を使って動画を撮影する ◆お家の人や友だちに動画のエピソードを話す ◆デジタル教科書を自分で使う
3年	 プレゼンテーション  インターネット検索	<ul style="list-style-type: none"> ◆Keynote※1 の基本操作を学ぶ ◆プレゼンテーションに写真を取り込む ◆デジタル教科書を家庭学習で利用する ◆インターネット検索の基本を学ぶ
4年	 プレゼンテーション  ローマ字入力	<ul style="list-style-type: none"> ◆ローマ字で入力する ◆Pages※2 で文章をつくる ◆簡単なプレゼンテーションを作成する ◆タブレット同士で情報のやりとりをする
5年	 協働学習  表計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ◆分かりやすいプレゼンテーションを作成する ◆Numbers※3 を用いてグラフを作成する ◆タブレットを協働学習で活用する ◆CBT システムを活用して理解度を把握する
6年	 情報の整理  ファイル操作	<ul style="list-style-type: none"> ◆写真、表、グラフなどを用いてプレゼンテーションを作成する ◆ファイル操作をして、データの管理をする ◆収集した情報をグループに分類する
中学生	 批判的思考  情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆根拠となる情報を提示し、説得力のあるプレゼンテーションを作成する ◆情報を批判的に読む ◆インターネット上のトラブルへの適切な対処方法を理解する

QRコードで説明動画が視聴できます。



※1 Keynote : アップルが開発している iPad 用のプレゼンテーションソフト

※2 Pages : アップルが開発している文書作成ソフト

※3 Numbers : アップルが開発している iPad 用の表計算ソフト